

## 参考文献

## [英語で書かれた文献]

- Austin, J.L.(1962) *How to Things With Words*. Cambridge, Mass: Harvard University Press (坂本百大訳(1978)『言語と行為』東京：大修館書店)
- Bloomfield,L(1933) *Language*. NewYork: Holt,Rinehart and Winston
- Brown,G., & Yule,G.(1983) *Discourse Analysis*. Cambridge: Cambridge University Press
- Brown,P. & S. C. Levinson (1987) *Politeness: Some Universals in Language Usage*. Cambridge: Cambridge University press
- Brown,R. (1998) Turn-Taking and Topic Management in Conversational English: A Pedagogical Perspective. 『西南学院大学英語英文学論集』 38 福岡:西南学院大学
- Chafe,W. & Dubois,J. & Thompson, S. (1991) Towards a New Corpus of Spoken American English. In Aijmer, K. & Altenberg, B.(ed.) *English Corpus Linguistics*. NY: Longman
- Chomsky, N. (1957) *Syntactic Structures*. The Hague: Mouton  
(勇康雄訳(1963)『文法の構造』東京:研究社)
- Coulthard,R.M.(1977) *An Introduction to Discourse Analysis*. London: Longman (吉村昭市, 貫井孝典, 鎌田修訳 (1999)『談話分析を学ぶ人のために』東京:世界思想社)
- Crystal, D. (1979) Neglected Grammatical Factors in Conversational English. *Studies in English Linguistics for Randolph Quirk*. London: Longman
- Crystal, D. (1980) *The Language Library. A First Dictionary of Linguistics and Phonetics*. Oxford: Basil Blackwell
- Edwards,J.A.(1993) Principles and Contrasting Systems of Discourse Transcription. *Talking Date : Transcription and Coding in Discourse Research*. In Edward, J. A. & Lampert, M.D.(Eds.) Hillsdale, N.J.: Lawrence Erlbaum Associates
- Fries, C. C. (1952) *The Structure of English : An Introduction to the Construction of English Sentences*. New York: Harcourt, Brace  
(福村虎治郎訳 (1959)『英語の構造』東京：研究社)
- Garfinkel, H. (1967) *Studies in Ethnomethodology*. Oxford: Basil Blackwell
- Gibbon, D. & Moore, R. & Winski, R. (1998) *Spoken Language System and Corpus Design*. Mouton de Gruyter

- Goffman, E. (1981) *Forms of Talk*. Pennsylvania: University of Pennsylvania
- Grice, P. (1989) *Studies in the Way of Words*. Cambridge: Harvard University Press  
(清塚邦彦・飯田隆訳 (1998) 『論理と会話』 東京: 勁草書房)
- Gumperz, J. J. (1982) *Discourse Strategies*. Cambridge: Cambridge University Press
- Halliday, M. A. K. & Hasan, R. (1976) *Cohesion in English*. London: Longman Group (安藤貞雄・多田保行・永田龍男・中川憲・高口圭轉訳(1997) 『テキストはどのように構成されるか』 東京: ひつじ書房)
- Halliday, M. A. K. & Hasan, R. (1985) *Language, Context, and Text: Aspect of Language in a Social-semiotic Perspective*. Tokyo: Deakin University (筧壽雄訳 『機能文法のすすめ』 東京: 大修館書店)
- Harris, Z. S. (1951) *Structural Linguistics*. (Method in Structural Linguistics) Chicago: University of Chicago Press
- Hoey, M. (1979) *Signalling in Discourse*. Birmingham: Birmingham Instant Print Limited
- Komatsu, R & Harris, R. (1993) *F. de Saussure Troisieme Cours de Linguistique G n rale(1910-1911) D'apr s les Cahiers d'Emile Constantin Saussure's Third Course of Lectures on General Linguistics (1910-1911) from the Notebooks of Emile Constantin*. New York: Pergamon Press.
- Leech, G. (1983, 1999) *Principles of Pragmatics*. New York: Longman (池上嘉彦・河上誓作訳(1987) 『語用論』 東京: 紀伊国屋書店)
- Leech, G. & Fligelstone, S. (1992) Computers and Corpus Analysis. *Computers and Written Texts*. In Christopher S. Butler(ed.) Cambridge: Basil Blackwell.
- Levinson, S. C. (1983) *Pragmatics*. Cambridge: Cambridge University Press (李益煥・權慶遠 訳 (1992) “화용론” 서울: 한신문화사)
- Lyons, J. (1968) *Introduction to Theoretical Linguistics*. NY: Cambridge University Press
- Murata, K. (1994) Intrusive or Co-Operative a Cross-Cultural Study of Interruption. *Journal of Pragmatics* 21
- Noma, Hideki. (2005) When Words Form Sentence: Linguistic Field Theory – From Morphology through Morpho-Syntax to Supra-Morpho- Syntax. *Usage-Based Linguistic Informatics 2 Corpus-Based Approaches to Sentence Structures*. In Takagaki, T. & Zaima, S. & Tsuruga, Y. & Francisco, M.F. & Kawaguchi, Y (eds) Amsterdam: John Benjamins
- Ramstedt, G. J. (1968) *A Korean Grammar*. (=MSFOu 82). Helsinki: Suomalais-Ugrilainen Seura

- Sacks, H. & Schegloff, E. A. & Jefferson, G. (1974) A Simplest Systematics for the Organization of Turn-Taking in Conversation. *Language* 50
- Sapir, E.(1921) *Language An Introduction to the Study of Speech*. NewYork: Harcourt, Brace & World
- Schegloff, E. A. & Sacks, H. (1973) Opening Up Closing. *Semiotica* 8
- Schegloff, E. A. (1982) Discourse as an Interactional Achievement : Some Use of 'uh huh' and Other Things That Come between Sentence. *Analyzing Discourse : Text and Talk*. ed. by Deborah Tannen Washington,D.C : Georgetown University
- Schiffrin, D. (1987) *Discourse Markers*. Cambridge: Cambridge University Press
- Scollon, R. & Scollon, S. W. (1995) *Intercultural Communication : A Discourse Approach*. Oxford:Blackwell
- Searle, J. R. (1969) *Speech Acts: An Essay in the Philosophy of Language*. Cambridge: Cambridge University Press  
(坂本百大・土屋俊訳(1986)『言語行為 言語哲学への試論』東京:勁草書房)
- Sohn, Ho-min(1994) *Korean*. London: Routledge
- Sperber, D. & Wilson, D(1988) *Relevance: Communication and Cognition*. Oxford: Blackwell (内田聖二・中達俊明・宋南光・田中圭子訳(1983)『関連性理論—理論と認知』東京:研究社)
- Stubbs, M. (1983) *Discourse Analysis The Sociolinguistic Analysis of Natural Language*. Cambridge: Basil Blackwell Ltd  
(南出康世・内田聖二訳 (1989)『マイケル・スタップズ 談話分析』東京:研究社)
- Tannen, D. (1984) *Conversational Style: Analyzing Talk among Friends*. Norwood, N.J.: Ablex
- Usami, Mayumi. (2002) *Discourse Politeness in Japanese Conversation: Some Implications for a Universal Theory of Politeness*. Tokyo: Hituzi Syobo
- van Dijk, T. A. (1977) *Text and Context*. London: Longman
- van Dijk, T. A. (1997) The Study of Discourse. *Discourse as Structure and Process*. In van Dijk,T.A.(ed) London: SAGE
- Yngve, Victor. H. (1970) On Getting a Word in Edgewise. *Chicago Linguistics Society* 6
- Yule, G. (1995) *Pragmatics*. New York: Oxford University Press

[日本語で書かれた文献]

- 有馬道子(2001)『パースの思想 記号論と認知言語学』 東京:岩波書店
- 五十嵐孔一(1998)「現代朝鮮語の用言接続形 <느라(고)> について—「タクシス」と「図と

- 地」の観点から一』『朝鮮学報』第 169 輯 天理：朝鮮学会
- 李翊燮・李相億・蔡琬(2004)『韓国語概説』梅田博之監修 前田真彦訳 東京：大修館書店
- 李善雅(2001)「議論の場におけるあいづちー日本語母語話者と韓国人学習者の相違ー」  
『日本語教育論集 世界の日本語教育』第 11 号 東京：国際交流基金日本語国際センター
- 池上嘉彦(1983;1999)「テキストとテキストの構造」『談話の研究と教育 I』国立国語研究所 東京：国立国語研究所
- 池上嘉彦(1981;2000)『「する」と「なる」の言語学——言語と文化のタイポロジーへの試論——』東京：大修館書店
- 石崎雅人・伝康晴(2001)『言語と計算 3 談話と対話』東京：東京大学出版会
- 伊藤英人(1989)「現代朝鮮語動詞の非過去テンス形式の用法について」『朝鮮学報』第 131 輯 天理：朝鮮学会
- 伊藤英人(1990)「現代朝鮮語動詞の過去テンス形式の用法について(1) —— ㄷㄹ形について」『朝鮮学報』第 137 輯 天理：朝鮮学会
- 井上史雄(1999)『敬語はこわくない——最新用例と基礎知識』東京：講談社
- 井上史雄(2000)『日本語の値段』東京：大修館書店
- 任栄哲(2000)「韓国の社会言語学の動向」『社会言語科学』第 3 巻 第 1 号 東京：社会言語科学会
- 任栄哲・李先敏(1995)「あいづち行動における価値観の韓日比較」『日本語教育論集 世界の日本語教育』第 5 号 東京：国際交流基金日本語国際センター
- 林八龍(1995)「日本語と韓国語における表現構造の対照考察ー日本語の名詞表現と韓国語の動詞表現を中心として」『宮地裕・敦子先生古希記念論集 日本語の研究』東京：明治書院
- 宇佐美まゆみ(1995)「談話レベルから見た敬語使用——スピーチレベルシフト生起の条件と機能」『学苑』東京：昭和女子大学近代文化研究所
- 宇佐美まゆみ(1997a)『言葉は社会を変えられる』東京：明石出版
- 宇佐美まゆみ(1997b)「基本的な文字化の原則の開発について」『日本人の談話行動のスクリプタ・ストラテジーの研究とマルチメディア教材の試作』文部省科学研究費基盤研究 研究成果報告書
- 宇佐美まゆみ(1998)「ディスコース・ポライトネス・ストラテジーとしてのスピーチレベル・シフト」『日本語教育学会秋春大会予稿集』東京：日本語教育学会
- 宇佐美まゆみ(1999)「談話の定量的分析——言語社会心理学的アプローチ——」『日本語学』第 18 巻 10 号 東京：明治書院
- 宇佐美まゆみ(2001)「「ディスコース・ポライトネス」という観点から見た敬語使用の機能ー敬語使用の新しい捉え方がポライトネスの談話理論に示唆することー」『語学研究所論集』第 6 号 東京：東京外国語大学語学研究所

- 宇佐美まゆみ監修(2005)「BTS による多言語話し言葉コーパス —— 日本語会話」東京外国語大学『21世紀COEプログラム言語運用を基盤とする言語情報学拠点』  
<http://www.coelang.tufs.ac.jp/>
- 宇佐美まゆみ・木林理恵(2002)「母語場面と接触場面における「共同発話文」の比較」『社会言語科学会研究大会予稿集』第10回 東京：社会言語科学会
- 梅田博之・村崎恭子(1982)「現代朝鮮語の格表現」『講座日本語学 10』 東京：明治書院
- エメット啓子(2001)「「なんか」——会話への積極的参加を促すインターアクションルマーカー」『言語学と日本語教育Ⅱ』 東京：くろしお出版
- 大石初太郎(1958)「話しことばと書きことば」『講座 現代国語学 Ⅲ ことばの変化』 東京：筑摩書房
- 大石初太郎(1974)「敬語の体質と現代敬語の展望」『敬語の体系』 林四郎・南不二男編 敬語講座第1巻 東京：明治書院
- オースティン, J. L. (1978) 『言語と行為』 坂本百大訳 東京：大修館書店
- 生越直樹(1988)「朝鮮語のあいづち——韓国人学生のレポートより——」『日本語学』 vol.7 no.13 東京：明治書院
- 生越直樹編(2002)『対照言語学』 東京：東京大学出版会
- 尾上圭介(2001)『文法と意味Ⅰ』 東京：くろしお出版
- 風間伸次郎(1992)「接尾型言語の動詞複合体について:日本語を中心として」『北の言語:類型と歴史』 宮岡伯人編 東京：三省堂
- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵著 (1998) 『敬語表現』 東京：大修館書店
- 神尾昭雄(1982)「発話のメカニズム〈言い間違いの研究からの知見〉」『言語』 vol.11 no.9 東京：大修館書店
- 亀井孝・河野六郎・千野栄一編(1996)『言語学大辞典 第6巻 術語編』 東京：三省堂
- 川口義一・横溝紳一郎 (2005) 『ライブ 成長する教師のための日本語教育ガイドブック (上)(下)』 東京：ひつじ書房
- 川口義一・蒲谷宏・坂本恵(2002)「「敬語表現」と「ポライトネス」—日本語研究の立場から」『社会言語科学』第5巻 第1号 東京：社会言語科学会
- 菅野裕臣・早川嘉春・志部昭平・浜田耕策・松原孝俊・野間秀樹・塩田今日子・伊藤英人 (1988) 『コスモス朝和辞典』「文法概説」 東京：白水社
- 菅野裕臣(1981)『朝鮮語の入門』 東京：白水社
- 菅野裕臣(1986)『基礎ハングル 中級講座』 第2号 東京：三修社
- 菅野裕臣(1997)「朝鮮語の語基について」『日本語と外国語との対照研究Ⅳ 日本語と朝鮮語 (上)』 国立国語研究所 東京：くろしお出版
- 菊池康人(1988)『敬語』 東京：角川書店
- 菊池康人(2000)「「ようだ」と「らしい」—「そうだ」「だろう」との比較も含めて—」『国語学』 第51巻 1号 東京：国語学会

- 金庚芬(2005)「会話に見られる「ほめ」の対象に関する日韓対照研究」『日本語教育』124号 東京：日本語教育学会
- 金美貞(2005)「韓国における接客言語行動に関する事例研究—文末形式選択のダイナミックス」『社会言語科学』第7巻 第2号 東京：社会言語科学会
- 金恩愛(2003)「日本語の名詞志向構造(nominal-oriented structure)と韓国語の動詞志向構造(verbally-oriented structure)」『朝鮮学報』第188輯 天理：朝鮮学会
- 金志宣(2000)「turn 及び turn-taking のカテゴリー化の試み—韓・日の対照会話分析」『日本語教育』105号 東京：日本語教育学会
- 金珍娥(2002)「日本語と韓国語における談話ストラテジーとしてのスピーチレベルシフト」『朝鮮学報』第183輯 天理：朝鮮学会
- 金珍娥(2003)「韓国語と日本語における談話構造——“turn-taking システム”から“turn-exchanging システム”へ——」『朝鮮学報』第187輯 天理：朝鮮学会
- 金珍娥(2004a)「韓国語と日本語の turn の展開から見たあいづち発話」『朝鮮学報』第191輯 天理：朝鮮学会
- 金珍娥(2004b)「韓国語と日本語の文、発話単位、turn——談話分析のための文字化システムによせて——」『朝鮮語研究2』 東京：くろしお出版
- 金田一京助・山田忠雄・柴田武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄編(2001)『新明解国語辞典 第五版』 東京：三省堂
- 久野暉(1978)『談話の文法』 東京：大修館書店
- クールタード,マルコム(1999)『談話分析を学ぶ人のために』 東京：世界思想社
- 黒崎良昭(1987)「談話進行上のあいづちの運用と機能—兵庫県滝野方言について—」『国語学』150号 東京：国語学会
- 黒沼祐佳(1996)「会話における turn-taking と情報共有のイニシアティブの関係」『筑波大学応用言語学研究』3 つくば：筑波大学
- 現代日本語研究会編(1999)『女性のことば・職場編』 東京：ひつじ書房
- 現代日本語研究会編(2002)『男性のことば・職場編』 東京：ひつじ書房
- 河野六郎(1979-80)『河野六郎著作集』第1-3巻 東京：平凡社
- 河野六郎(1997)『文字論』 東京：三省堂
- 国立国語研究所編(1978)『日本語の文法 上 下』 東京：大蔵省印刷局
- 国立国語研究所(2004 最新更新)『日本語話し言葉コーパス』 <http://www.kokken.go.jp/>
- 小宮千鶴子(1986)「あいづち使用の実態—出現傾向とその周辺—」『語学教育研究論叢』 東京：大東文化大学語学教育研究所
- 小室郁子(1995)「“Discussion”における turn-taking——実態の把握と指導の重要性」『日本語教育』85号 東京：日本語教育学会
- サーサス,ジョージ(1998)『CONVERSATION ANALYSIS 会話分析の手法』北澤裕・小松光一訳 東京：マルジュ社

- サーサス,G・ガーフィンケル,H・サックス,H・シェグロフ,E (1995)『日常性の解剖学  
ETHNOMETHODOLOGY 知と会話』 北澤裕・西坂仰訳 東京：マルジュ社
- 斉藤俊雄・中村純作・赤野一郎(1998)『英語コーパス言語学——基礎と実践——』 東  
京：研究社
- 佐久間まゆみ(1987)「段落の接続と接続語句」『日本語学』 vol.6 東京：明治書院
- 佐竹秀雄(1995)「若者ことばとレトリック」『日本語学』 vol.14 no.11 東京：明治書院
- 佐竹秀雄(1997)「若者ことばと文法」『日本語学』 vol.16 no.4 東京：明治書院
- ザトラウスキー, ポリー(1991)「会話分析における「単位」について——「話段」の提案」  
『日本語学』 vol.7 東京：明治書院
- ザトラウスキー, ポリー(1993)『日本語研究叢書 5 日本語の談話の構造分析——勧  
誘のストラテジーの考察——』 東京：くろしお出版
- サピア, エドワード(1998)『言語——ことばの研究序説——』安藤貞雄訳 東京：岩波  
書店
- 秦秀美(2002)「日・韓における感謝の言語表現ストラテジーの一考察」『日本語教育』  
114号 東京：日本語教育学会
- 須賀一好・早津恵美子(2001)『日本語研究資料集 第1期第8巻 動詞の自他』東京：ひ  
つじ書房
- 杉戸清樹(1987)「発話のうけつぎ」『国立国語研究所報告 92 談話行動の諸相 談話行  
動の分析』 東京：三省堂
- 杉藤美代子(1993)「効果的な談話とあいづちの特徴及びそのタイミング」『日本語学』  
vol.12 no.4 東京：明治書院
- 鈴木重幸(1972)『日本語文法・形態論』 東京：むぎ書房
- ソシュール,フェルディナン・ド (1940,1972) 小林英夫訳 『一般言語学講義』 東京:  
岩波書店
- ソシュール,フェルディナン・ド(2003) 『フェルディナン・ド・ソシュール 一般言語学  
第三回講義 エミール・コンスタンタンによる講義記録』 相原奈津江・秋律伶  
訳 京都：エディット・パルク
- 高原脩・林宅男・林礼子編(2002)『プラグマティックスの展開』 東京：勁草書房
- 田窪行則編(1997)『視点と言語行動』東京：くろしお出版
- 俵万智(1999)『言葉の虫めがね』東京：角川書店
- 陳姿菁(2001)「日本語の談話におけるあいづちの種類とその仕組み」『日本語教育』  
108号 東京：日本語教育学会
- 塚原渉・ワード,ナイジェル(1997)「理解を介さない会話現象としてのあいづち」『言  
語』 vol.26 no.10 東京：大修館書店
- 辻大介(1996)「若者におけるコミュニケーション様式変化」『東京大学社会情報研究所  
紀要』 51号 東京：東京大学社会社会情報研究所

- 辻大介(1999)「「とか」弁のコミュニケーション心理」『第3回 社会言語科学会研究大会 予稿集』東京：社会言語科学会
- 寺澤芳雄編(2002)『英語学要語辞典』東京：研究社
- 寺村秀夫(1982)「日本語のシンタクスと意味 第1巻」東京：くろしお出版
- 時枝誠記(1941)『国語学原論』東京：岩波書店
- 時枝誠記(1950)『日本文法 口語篇』東京：岩波書店
- 富盛伸夫(2000)「ソシユールの言語思想」『境界の「言語」』荒このみ, 谷川道子編著  
東京：新曜社
- 中田智子(1991)「会話に現れるくり返しの発話」『日本語学』 vol.10 no.10 東京：  
明治書院
- 中光雄(国語教育プロジェクト)編(2001)『原色シグマ新国語便覧 増補改訂新版』東京：文  
英堂
- 西原鈴子(1991)「会話の turn-taking における日常的推論」『日本語学』 vol.10 東京：  
明治書院
- 仁田義雄・村木新次郎・柴谷方良・矢澤真人(2000)『日本語の文法1 文の骨格』東  
京：岩波書店
- 内閣告示・内閣訓令(1973)『送り仮名のつけ方』東京：大蔵省印刷局
- 内閣告示・内閣訓令(1986)『常用漢字表 現代仮名遣い(付 人名用漢字)』東京：大蔵  
省印刷局
- 内閣告示・内閣訓令(1991)『外来語の表記法』東京：大蔵省印刷局
- 野田尚史(1998)「「ていねいさ」からみた文章・談話の構造」『国語学』東京：国語学会
- 野田尚史・益岡隆志・佐久間まゆみ・田窪行則(2002)『複文と談話』東京：岩波書店
- 野間秀樹(1990)「朝鮮語の名詞分類——語彙論・文法論のために——」『朝鮮学報』第  
135 輯 天理：朝鮮学会
- 野間秀樹(1997)「朝鮮語の文の構造について」『日本語と外国語との対照研究IV 日本  
語と朝鮮語(上)』国立国語研究所 東京：くろしお出版
- 野間秀樹(1998)「朝鮮語学概論 東京外国語大学 講義資料」東京外国語大学
- 野間秀樹(2000)『至福の朝鮮語』東京：朝日出版社
- 野間秀樹・金珍娥(2004)『Viva! 中級韓国語』東京：朝日出版社
- 野間秀樹・村田寛・金珍娥(2004)『ぷち韓国語』東京：朝日出版社
- 野村剛史(1991)「助動詞とは何か—その批判的再検討—」『国語学』東京：国語学会
- 橋内武(1999)『ディスコース——談話の織りなす世界』東京：くろしお出版
- 橋本進吉(1934)『国語法要説』東京：明治書院
- 橋本進吉(1948)『国語法研究』東京：岩波書店
- 橋本進吉(1958)『国語法研究 橋本進吉博士著作集 第二巻』東京：岩波書店
- 橋本進吉(1959)『国文法體系論』東京：岩波書店



- 蓮沼昭子(1995)「対話における確認行為 「だろう」「じゃないか」「よね」の確認用法」  
『複文の研究(下)』仁田義雄編 東京：くろしお出版
- 畠弘巳(1982)「コミュニケーションのための日本語教育」『言語』 vol.11 no.13 (臨時  
増刊号) 東京：大修館書店
- 服部四郎(1949)「具体的言語単位と抽象的言語単位」『コトバ』 2-12 東京：国語  
文化学会 (国語学研究『コトバ』 第27巻 東京：ゆまに書房)
- 服部四郎(1967)『言語学の方法』 東京：岩波書店
- 服部四郎・大野晋・阪倉篤義・松村明編(1979)『日本の言語学 第四巻 文法Ⅱ』 東京：  
大修館書店
- バフチン,ミハイル (2002)『バフチンの言語論入門』桑野隆,小林潔訳 東京：せりか書  
房
- 林四郎(1983)「日本語の文の形と姿勢」『談話の研究と教育Ⅰ』国立国語研究所 東  
京：国立国語研究所
- 早津恵美子(1998)「日本語」『世界の言語ガイドブック 2 アジア・アフリカ地域』東京：  
三省堂
- バンヴェニスト,エミール(1983)『一般言語学の諸問題』河村正夫,岸本通夫,木下光一,  
高塚洋太郎,花輪光訳 東京：みすず書房
- 日向茂男・日比谷潤子(1988)『外国人のための日本語例文・問題シリーズ 談話の  
構造』名柄迪 監修 東京：荒竹出版
- 舟橋宏代(1994)「談話の進行における日韓語母語話者の姿勢」『平成6年度 日本語教  
育学会春秋大会予稿集』 東京：日本語教育学会
- ブルームフィールド(1965)『言語』服部四郎序・三宅鴻・日野資純訳 東京：大修館書店
- 白峰子(2004)『韓国語文法辞典』大井秀明訳 野間秀樹監修 東京：三修社
- 堀口純子(1991)「あいづち研究の現段階と課題」『日本語学』 vol.10 東京：明治書院
- 堀口純子(1997)『日本語教育と会話分析』 東京：くろしお出版
- 益岡隆志(1998)『モダリティの文法』東京：くろしお出版
- 益岡隆志(2003)『三上文法から寺村文法へ 日本語記述文法の世界』東京：くろしお出  
版
- 松井栄一(2005)『小学館 日本語新辞典』東京：小学館
- 松下大三郎(1928)『改選標準日本文法』東京：中文館書店
- 松下大三郎(1978;1989)『標準日本口語法』東京：勉誠社
- 松田陽子(1988)「対話の日本語教育学—あいづちに関連して—」『日本語学』 vol.7 no.13  
東京：明治書院
- 三尾砂(1948)『国語法文章論』 東京：三省堂
- 三上章(1955)『現代語法新説』東京：くろしお出版
- 三上章(1963)『日本語の構文』東京：くろしお出版

- 水谷信子(1983)「あいづちと応答」『話しことばの表現 講座日本語の表現 3』水谷修編 東京：築摩書房
- 水谷信子(1988)「あいづち論」『日本語学』 vol.7 no.12 東京：明治書院
- 水谷信子(2001)「あいづちとポーズの心理学」『言語』 vol.30 no.7 東京：大修館書店
- 水谷信子(2001)『日英比較 話しことばの文法』東京：くろしお出版
- 南不二男(1972)「日常会話の構造——とくにその単位について」『言語』 vol.1 no.2 東京：大修館書店
- 南不二男(1983)「談話の単位」『談話の研究と教育 I』国立国語研究所 東京：国立国語研究所
- 南不二男(1987)「談話行動論」『国立国語研究所報告 92 談話行動の諸相 談話行動の分析』東京：三省堂
- 南不二男(1993)『現代日本語文法の輪郭』東京：大修館書店
- 三牧陽子(2002)「待遇レベル管理から見た日本語母語話者間のポライトネス表示—初対面会話における「社会的規範」と「個人のストラテジー」を中心に—」『社会言語科学』第5巻 第1号 東京：社会言語科学会
- メイナード, K.泉子(1987)「日米会話におけるあいづち表現」『言語』 vol.16 no.12 東京：大修館書店
- メイナード, K.泉子(1993)『会話分析』東京：くろしお出版
- メイナード, K.泉子(1997)『談話分析の可能性：理論, 方法, 日本語の表現性』東京：くろしお出版
- メイナード, K.泉子(2000)『情意の言語学——「場交渉論」と日本語表現のパトス——』東京：くろしお出版
- メイナード, K.泉子(2004)『談話言語学 日本語のディスコースを創造する構成・レトリック・ストラテジーの研究』東京：くろしお出版
- 森岡健二(1994)『日本文法体系論』東京：明治書院
- 森岡健二・宮地裕・寺村秀夫・川端善明編(1994)『講座日本語学 9 敬語史』東京：明治書院
- 森田良行(2002)『日本語文法の発想』東京：ひつじ書房
- 守時なぎさ(1994)「話し言葉における文法表現『ッテ』について」『筑波応用言語学研究』第1号 つくば：筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科応用言語学コース
- 森山卓郎(1995)「並列述語構文考」『複文の研究(上)』仁田義雄編 東京：くろしお出版
- 茂呂雄二編(1997)『対話と知 談話の認知科学入門』東京：新曜社
- ヤーコブソン, R (1973)『一般言語学』田村すず子, 村崎恭子, 長嶋善郎, 中野直子訳 川本茂雄監修 東京：みすず書房

- ヤーコプソン, R (1997) 『言語とメタ言語』池上嘉彦,山中桂一訳 東京:勁草書房
- 山崎敬一・好井裕明(1984) 「会話の順番取りシステム—エスノメソドロギーへの招待」  
『言語』 vol.13 no.7 東京:大修館書店
- 山田孝雄(1921)『日本文法講義』東京:寶文館
- 山田孝雄(1936)『日本文法学概論』東京:寶文館
- 油谷幸利(2005)『日韓対照言語学入門』東京:白帝社
- 好井裕明・山田富秋・西坂仰編(1999)『会話分析への招待』京都:世界思想社
- 李麗燕(2000)『日本語研究叢書 12 日本語母語話者の雑談における「物語」の研究 会話  
管理の観点から』東京:くろしお出版
- 渡辺実(1971)『国語構文論』東京:塙書房

[韓国語で書かれた文献]

- 고영근[高永根] (1974) ‘현대국어의 존대법에 대한 연구’ “語學研究” 第 10 卷 第 2 輯  
서울: 서울대학교 어학연구소
- 고영근[高永根] (1999) “텍스트이론—언어문학통합론의 이론과 실제” 448 대우학술  
총서논저 서울: 아르케
- 국립국어연구원[國立國語研究院](1995) “한국 어문 규정집 한글 맞춤법 표준어 규정  
외래어 표기법 국어의 로마자 표기법” 서울: 계문사
- 국립국어연구원[國立國語研究院] (1999) “표준국어대사전” 서울: 두산동아
- 국립국어연구원,문화관광부[國立國語研究院,文化觀光部] “21 세기 세종계획 국어  
특수자료 구축 현대 국어 구어 전사 말뭉치 개발 연구보고서”  
1998 년-2004 년
- 김석득(1992) “우리말 형태론” 서울: 탐출판사
- 김태자[金泰子] (1987) “발화분석의 화행의미론적 연구—어학의 문학에로의 접근—”  
서울: 탐출판사
- 남윤진[南潤珍](2000) “현대 국어의 조사에 관한 계량언어학적 연구” 서울: 태학사
- 남기심[南基心](2001) “현대 국어 통사론” 서울: 태학사
- 남기심·고영근[南基心·高永根] (1993) “표준 국어문법론 개정판” 서울: 탐출판사
- 노대규 (1996) “한국어의 입말과 글말” 서울: 국학자료원
- 노마히데키[野間秀樹](1996a) ‘현대 한국어의 대우법 체계’ “말” 제 21 집 서울:  
연세대학교 연세어학원 한국어학당
- 노마히데키[野間秀樹](1996b) ‘한국어 문장의 계층구조’ “언어학” 제 19 호 서울:  
한국언어학회
- 노마히데키[野間秀樹](2002a) “한국어 어휘와 문법의 상관구조” 서울: 태학사
- 노마히데키[野間秀樹](2002b) ‘한국어 단어결합론의 심화를 위하여’ “국어학”  
제 39 호 서울: 태학사

- 노마히데키[野間秀樹](forthcoming) ‘현대한국어의 용언의 분석적인 형태에 대하여’  
“형태론” 서울: 박이정
- 노석기[盧石基](1990) ‘우리말 담화의 결속관계 연구’ “한글” 제 208 호 서울:  
한글학회
- Norman Fairclough 저 (2001) “Media Discourse 대중매체 담화 분석” 이원표 역  
서울: 한국문화사
- 데이비드 리(David Lee) “인지언어학 입문” 임지룡, 김동환 옮김 서울: 한국문화사
- 미카엘 스테르브즈(1993) “담화분석——자연언어의 사회언어학적 분석” 송영주 옮김  
서울: 한국문화사
- 민현식[閔賢植](1991) “국어의 사상과 시간 부사” 서울: 개문사
- Wardhaugh, Ronald (1994) “社會言語學” 朴義載 譯 서울: 한신문화사
- 박용익(1998) “대화분석론” 서울: 한국문화사
- 반 다이크(Teun A. van Dijk)(1995) “텍스트학” 정시호 옮김 서울: 민음사
- 서정수[徐正洙](1980) ‘존대말은 어떻게 달라지고 있는가?—청자대우 등급의 간소화’  
“한글” 제 167 호 서울: 한글학회
- 서정수[徐正洙](1984) “존대법의 연구” 서울: 한신문화사
- 서정수[徐正洙](1996) “국어문법” 서울: 한양대학교출판부
- 서상규[徐尙揆] 편 (1999) “언어 정보의 탐구 1” 서울: 연세대학교 언어 정보  
개발연구원
- 서상규[徐尙揆] 편(2003) “한국어 교육과 학습사전” 서울: 한국문화사
- 서상규·구현정 공편(2002) “한국어 구어 연구(1) ——구어 전사 말뭉치와 그 활용”  
연세대학교 언어정보개발연구원 서울: 한국문화사
- 서상규·구현정 공편(2005) “한국어 구어 연구(2)——대학생 대화 말뭉치를 중심으로”  
연세대학교 언어정보개발연구원 서울: 한국문화사
- 성기철[成耆徹] (1983) “現代國語文法” 대구: 啓明大學校出版部
- 신지연(1988) ‘국어 간투사의 연구’ “국어연구” 83 서울: 국어연구회
- 아르놀프 데퍼만(Arnulf Deppermann)(2002) “회화분석론” 박용익 옮김 서울: 역락
- 연세대학교 언어정보개발연구원[延世大學校 言語情報開發研究院](1998) “연세  
한국어 사전” 서울: 두산동아
- 오승신[吳丞信](1997) ‘담화상에서의 간투사의 기능’ “말” 제 21 집 서울:  
연세대학교 연세어학원 한국어학당
- 요하네스 페르(Johannes Fehr)(2002) “소쉬르, 언어학과 기호학 사이” 최용호 옮김  
서울: 인간사랑
- 우형식(1998) “국어 동사 구문의 분석” 서울: 태학사
- 윤석민[尹錫敏](1996) “현대국어의 문장종결법 연구” 서울: 아르케
- 이원표 (1999) ‘토크쇼에서의 말 끼어들기: 담화 기능과 사회적 요인’ “담화와

- 인지” 제 6 권 2 호 서울: 담화 인지 언어학회
- 이원표 (2001) “담화분석 방법론과 화용 및 사회언어학적 연구의 실례”  
서울: 한국문화사
- 이원표 (2001) “담화분석” 서울: 한국문화사
- 이익섭·임홍빈[李翊燮·任洪彬] (1983) “국어문법론” 서울: 학연사
- 이정복(2001) “국어 경어법 사용의 전략적 특성” 서울: 國語學會
- 이정복(2002) “국어 경어법과 사회언어학” 서울: 月印
- 이정애(2002) “국어 화용표지의 연구” 서울: 月印
- 이한규(1997) ‘한국어 담화표지어 ‘왜’ “담화와 인지” 제 4 권 1 호 서울: 담화 인지 언어학회
- 이한규(1999) ‘한국어 담화표지어 ‘뭐’의 의미’ “담화와 인지” 제 6 권 1 호 서울: 담화 인지 언어학회
- 이희승·안병희[李熙昇·安秉禧] (1998) “고친관 한글 맞춤법 강의” 서울: 신구문화사
- 이희자·이종희(1999) “사전식 텍스트 분석적 국어 의미의 연구” 서울: 한국문화사
- 이호영(1996) “국어 음성학” 서울: 태학사
- 임지룡(1992) “국어 의미론” 서울: 탑출판사
- 임홍빈[任洪彬](1998) “국어 문법의 심층 2 —명사구와 조사구의 문법—” 서울: 태학사
- 張爽鎭(1992) “話用論研究” 서울: 塔出版社
- 정희원(1991) ‘한국어의 간접화행과 존대표현’ “화용론 논집” 제 1 호 서울: 서울대학교 화용론 연구회
- 趙義成(1997) ‘현대한국어의 단어결합에 대하여’ “朝鮮學報” 第 163 輯 天理: 朝鮮學會
- 조남호·이은경·김정남·이선웅(2005) “한국어 학습자용 말뭉치의 구축과 활용” 서울: 태학사
- 조준학[趙俊學](1980) ‘話用論과 공손의 규칙’ “語學研究” 第 6 卷 第 1 號 서울: 서울대학교 어학연구소
- 주경희(2000) ‘대화에서의 ‘좀’ 의 기능’ “국어국문학” 126 서울: 국어국문학회
- 홍사만[洪思滿](2002) “한·일어 대조분석” 서울: 역락
- 홍사만[洪思滿] (2002) “국어 특수조사 신연구” 서울: 역락
- 황적륜[黃迪倫] (1976) ‘國語의 尊待法’ “언어” 제 1 권 제 2 호 서울: 한국언어학회
- 최현배[崔鉉培](1929,1994) “우리말본” 서울: 정음문화사
- 허웅[許雄](1975) “우리 옛말본 15 세기 국어 형태론” 서울: 샘 문화사